

南丹市子どもの貧困対策整備計画実態調査（速報版）

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、2020～2024年度を計画期間とする「南丹市子どもの貧困対策整備計画」策定の基礎資料とするため、ご家庭とお子さんの生活の状況や市の取り組みへのご意見をお聞かせいただくことを目的として実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査を実施しました。

<input checked="" type="checkbox"/> 保護者向け <input type="checkbox"/> 子ども向け	就学前					小学生						中学生			高校生	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		14
①小学生調査 (5・6年生)											●	●				
②中学生調査 (1～3年生)													●	●	●	
③生活保護・ひとり親世帯調査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						■

※調査基準日：平成30年12月31日

(1) 南丹市子どもの暮らしの様子アンケート（子ども用アンケート）

学校でアンケートを配布・回答し、学校で回収する。

(2) 南丹市子どもの生活状況アンケート（保護者用アンケート）

学校から子どもが自宅に持ち帰り、保護者は自宅でアンケートに回答し、郵送により提出。

調査期間：平成31年1月28日～2月18日（一部の学校のみ3月1日まで実施）

(3) 南丹市子どもの生活状況アンケート（ひとり親家庭・生活保護受給世帯用アンケート）

郵送による配布・回収。

調査期間：平成31年2月1日～2月18日

3. 配布と回収状況

調査票の配布と3月6日時点の回収の状況は次のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
① 子どもの生活実態調査	1,170票	1,091票	93.2%
② 保護者調査	1,170票	573票	49.0%
③ 生活保護・ひとり親調査	164票	63票	38.4%

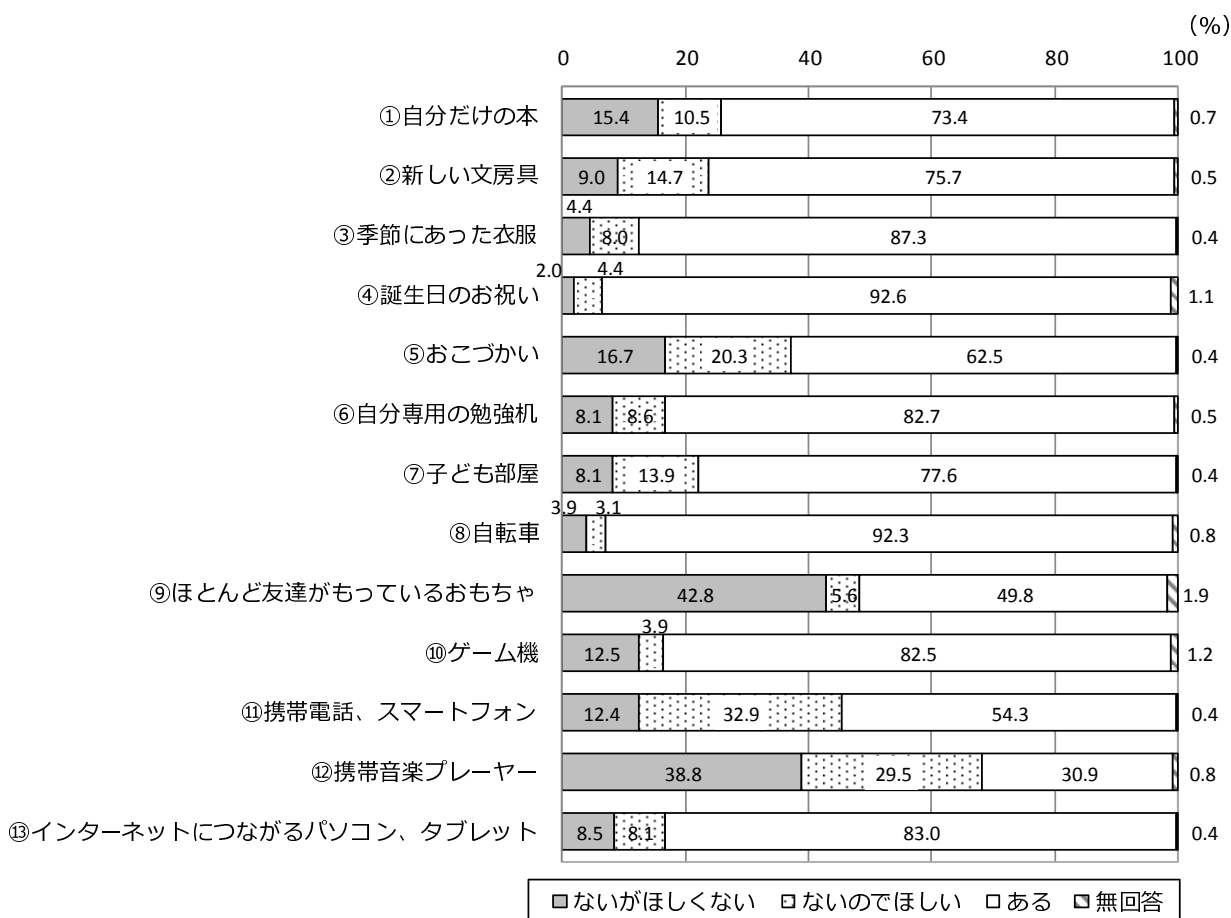
2 調査結果（2月末回収分までの集計結果）

子どもの生活・学習習慣について

次の中に、あなたが持っている物やあなたの気持ちにあてはまることがありますか。

【子ども（問6）】

○「ないがほしくない」は、“ほとんど友達もっているおもちゃ”が42.8%、「ないのでほしい」は“携帯電話、スマートフォン”が32.9%、「ある」は“誕生日のお祝い”が92.6%でそれぞれ最も割合が高くなっています。

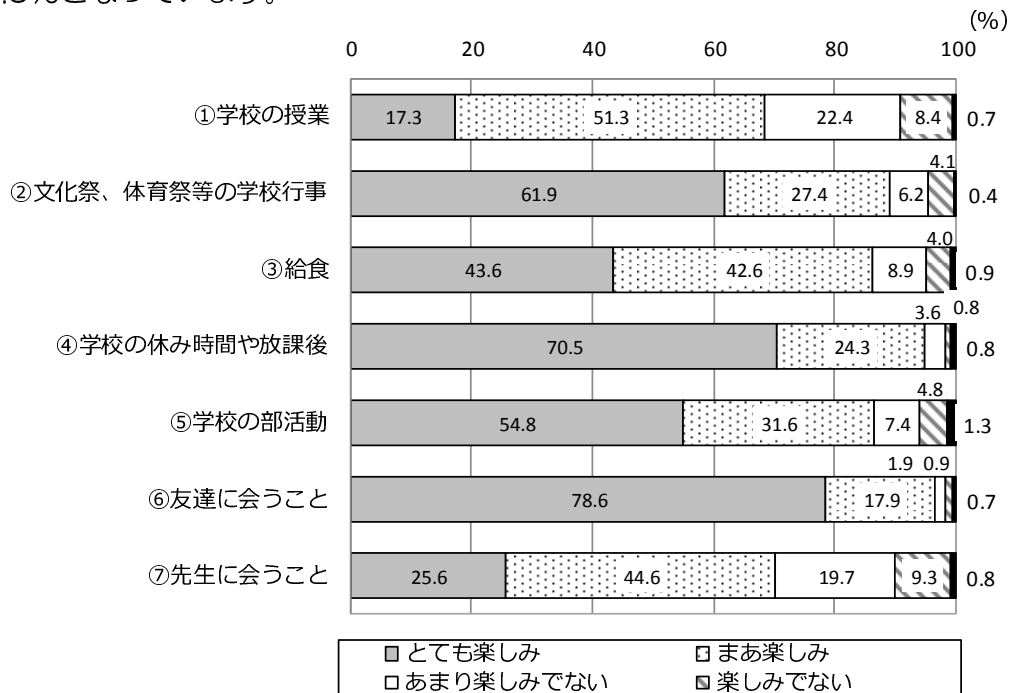


n=753

【子ども（問 14）】

あなたが学校生活の中で、楽しみにしていることについて教えてください。

○「とても楽しみ」は、“友達に会うこと”が78.6%で最も割合が高く、次いで「学校の休みや放課後」が70.5%となっています。

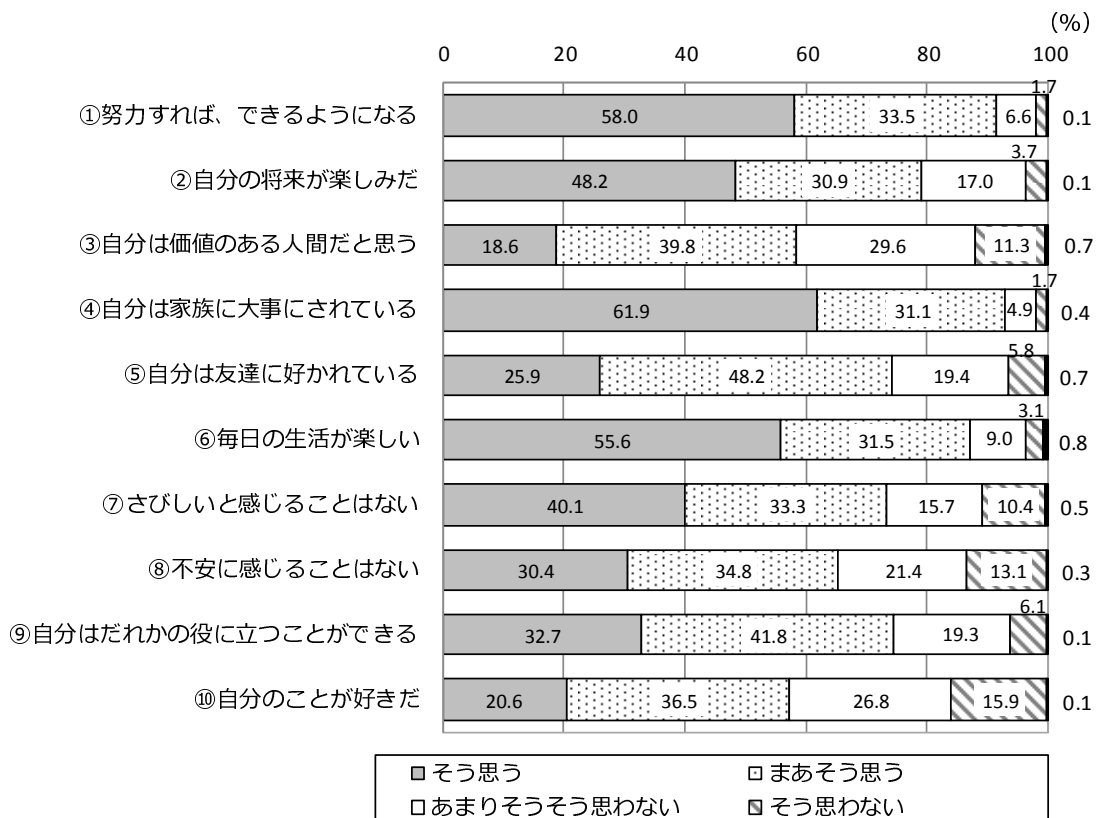


n=753

【子ども（問 15）】

あなたがふだんの生活で感じていることについて、教えてください。（それぞれ1つに○）

○「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は、“努力すれば、できるようになる”が91.5%で最も割合が高く、“自分のことが好きだ”が57.1%で最も低くなっています。

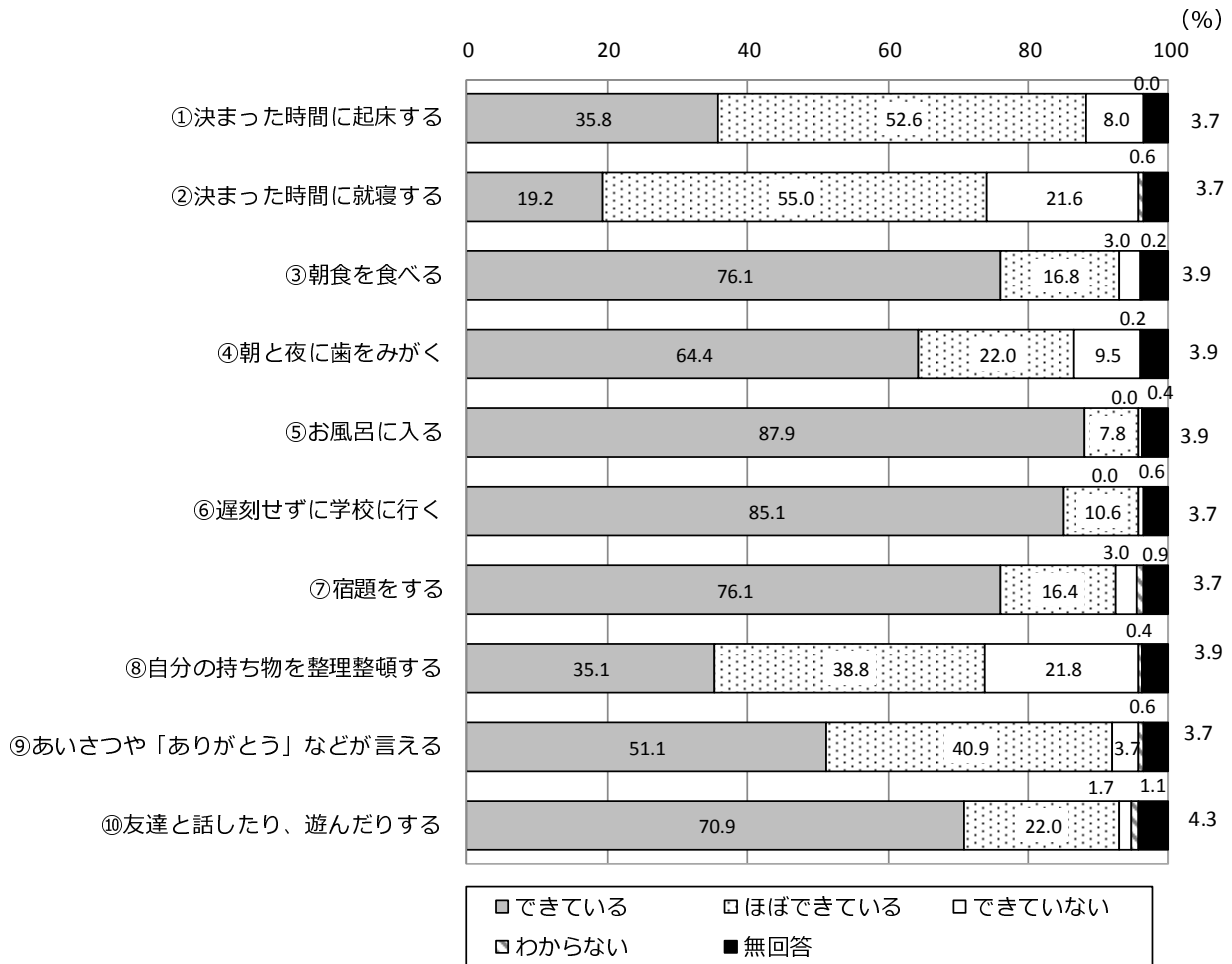


n=753

お子さんの基本的な生活・学習習慣について、各項目の状況をお答えください。

【保護者（問 13）】

○「できている」と「ほぼできている」を合わせた『できている』は、「お風呂に入る」と「遅刻せずに学校に行く」が95.7%で最も割合が高く、「自分の持ち物を整理整頓する」が73.9%で最も低くなっています。



n=464

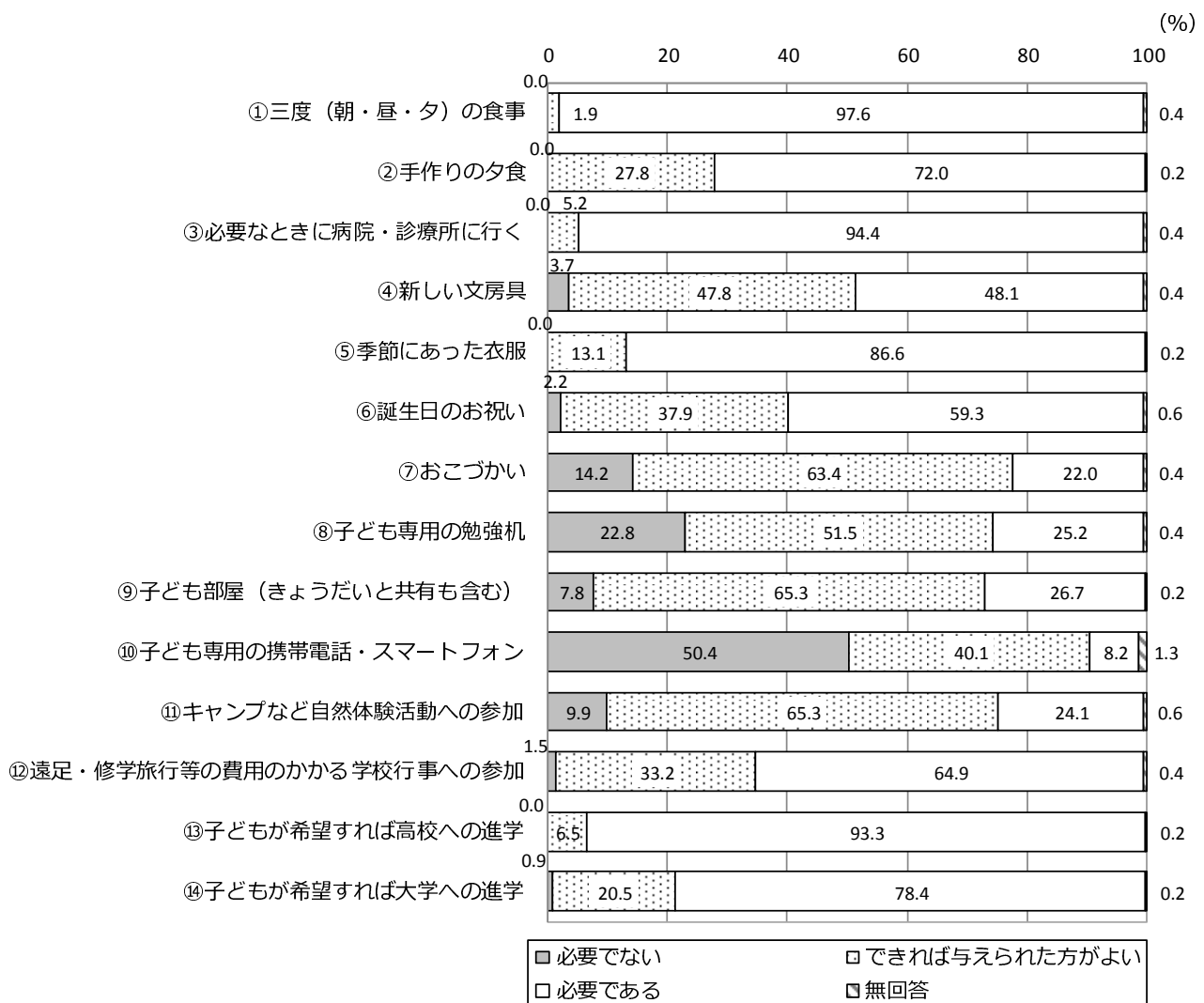
子どもを取り巻く環境・モノについて

次のような環境・モノについて、子どもにとって必要であると思いますか。

(それぞれ1つに○)

【保護者（問17）】

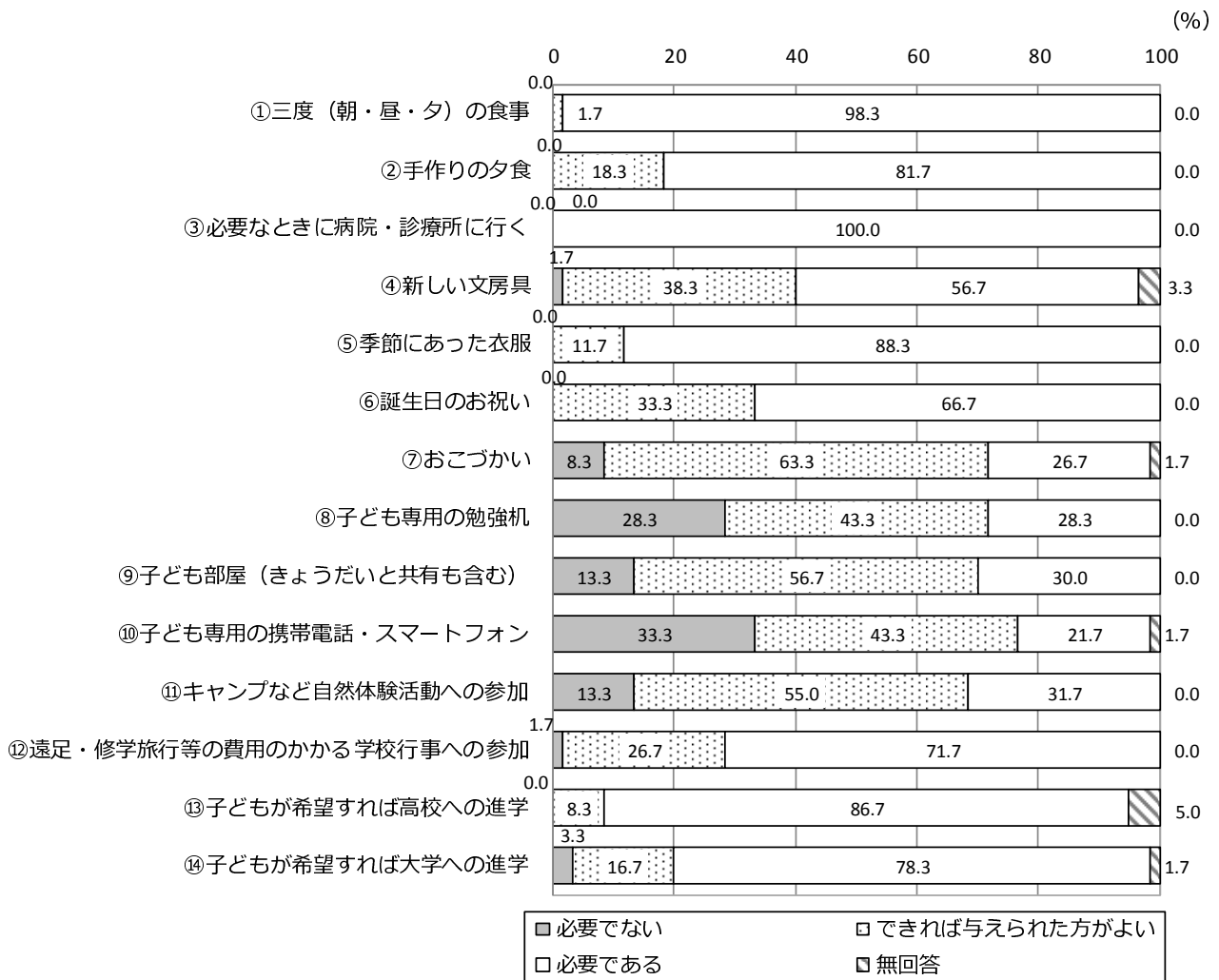
○「必要である」は、“三度（朝・昼・夕）の食事”が97.6%、「必要でない」は“子ども専用の携帯電話・スマートフォン”が、50.4%で最も割合が高くなっています。



n=464

【ひとり親等（問10）】

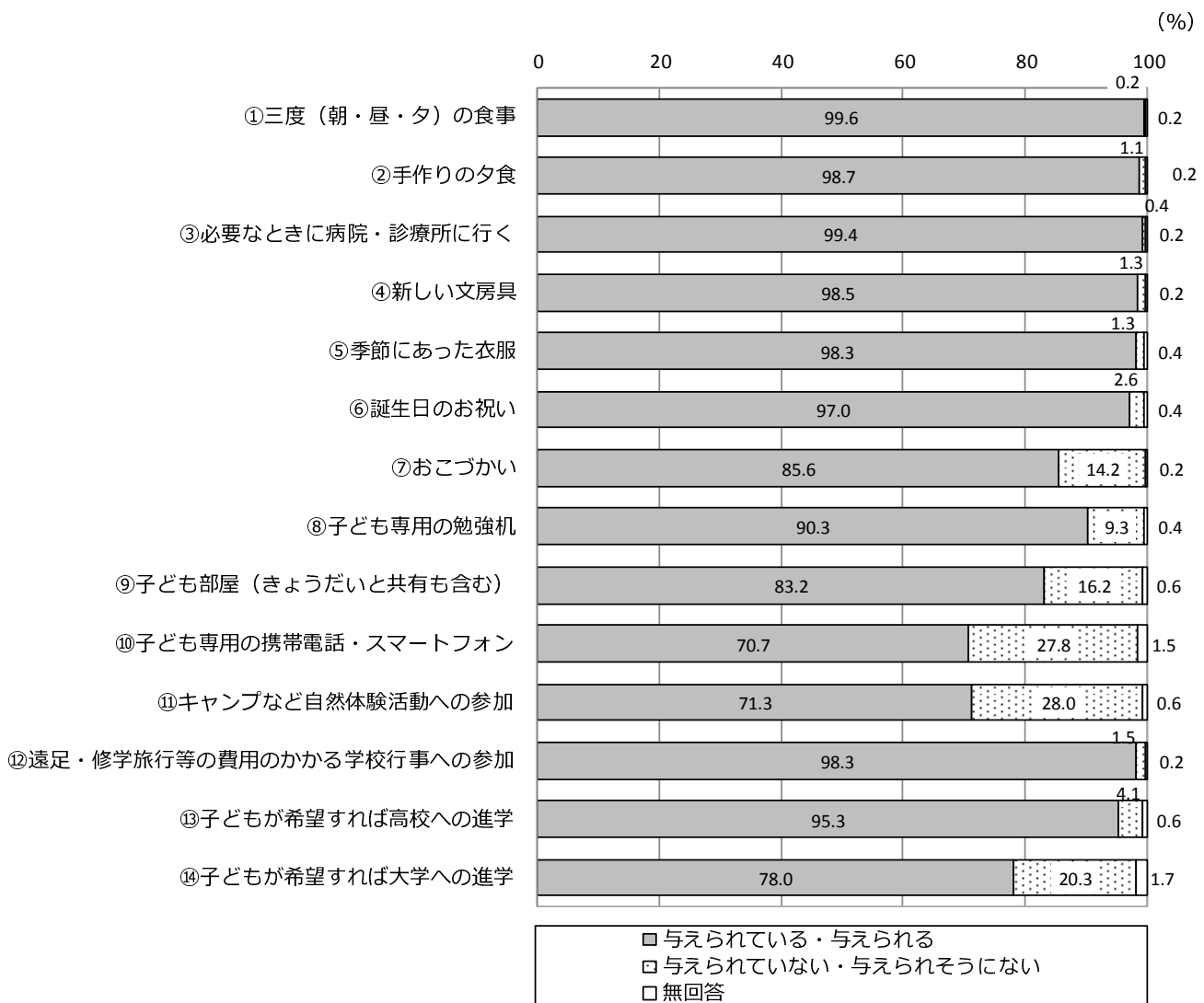
○「必要である」は、“必要なときに病院・診療所に行く”が100.0%、「必要でない」は“子ども専用の携帯電話・スマートフォン”が、33.3%で最も割合が高くなっています。



問 18 次のような環境・モノを与える場合、あなたの家庭では経済的理由によりお子さんに与えられていないものや与えられそうにないものがありますか。(それぞれ1つに○)

【保護者（問 18）】

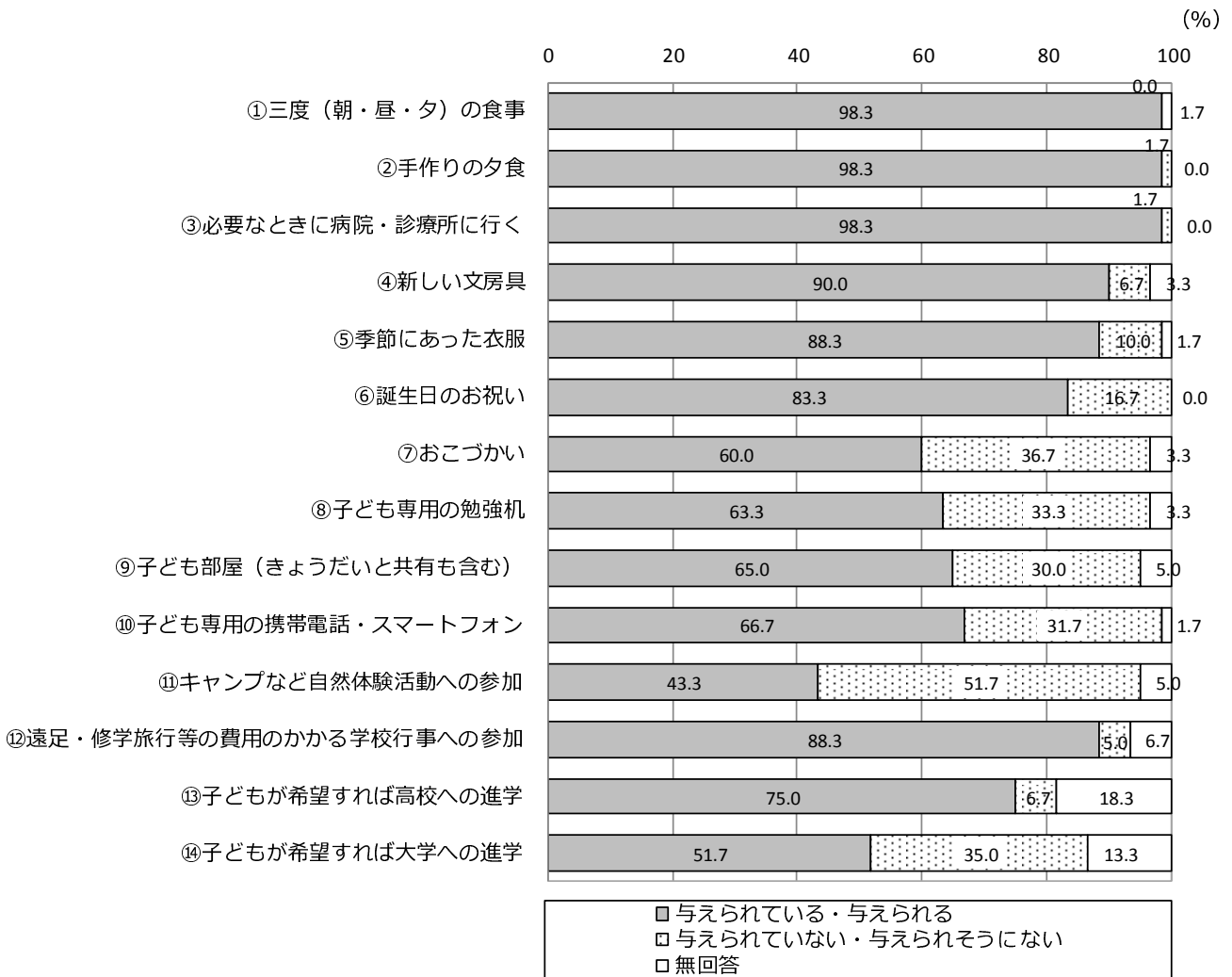
- 「与えられている・与えられる」は、“三度（朝・昼・夕）の食事”が99.6%、「与えられていない・与えられそうにない」は“子ども専用の携帯電話・スマートフォン”が、70.7%で最も割合が高くなっています。
- 「必要である」と「与えられている」を比較すると、ほとんどの項目が、「与えられている」の割合が高い中で、“子どもが希望すれば大学への進学”のみ、「必要である」割合の方が0.4ポイント高くなっています。



n=464

【ひとり親等（問11）】

- 「与えられている・与えられる」は、“三度（朝・昼・夕）の食事”が98.3%、「与えられていない・与えられそうにない」は“キャンプなど自然体験活動への参加”が、51.7%で最も割合が高くなっています。
- 「必要である」と「与えられている」を比較すると、“子どもが希望すれば大学への進学”が26.7ポイント、“子どもが希望すれば高校への進学”が11.7ポイント、「必要である」の方が高く、「与えられている」の差がみられます。

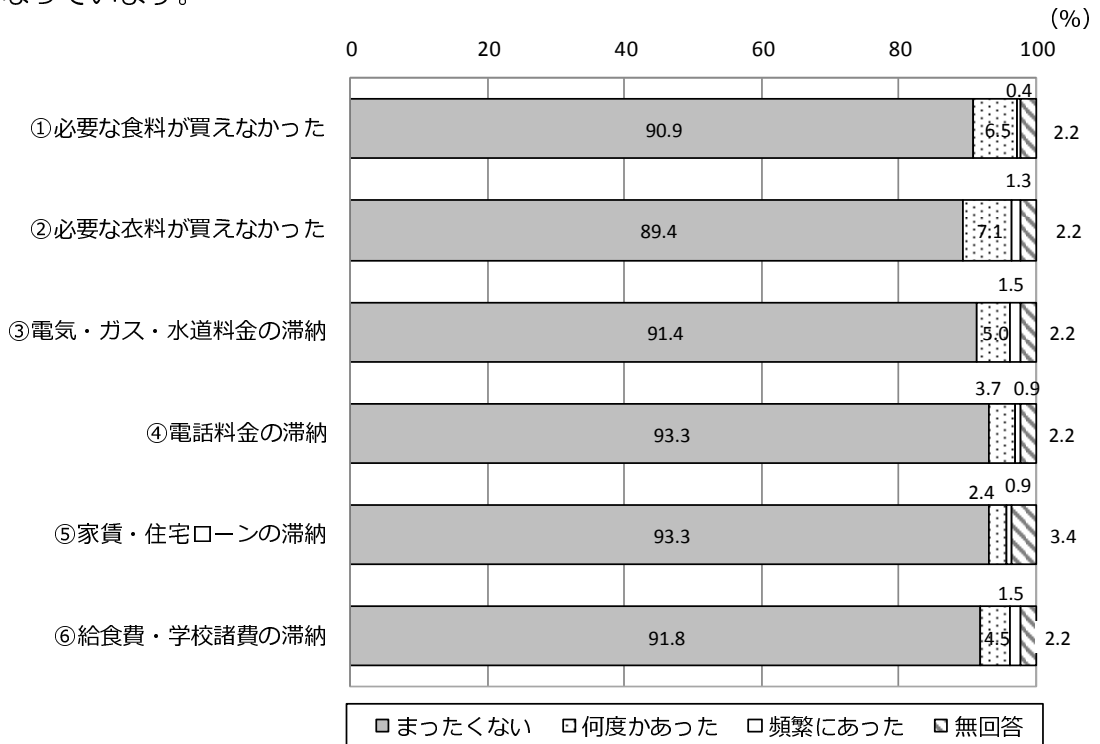


n=60

あなたの世帯（家庭）では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれ1つに○）

【保護者（問19）】

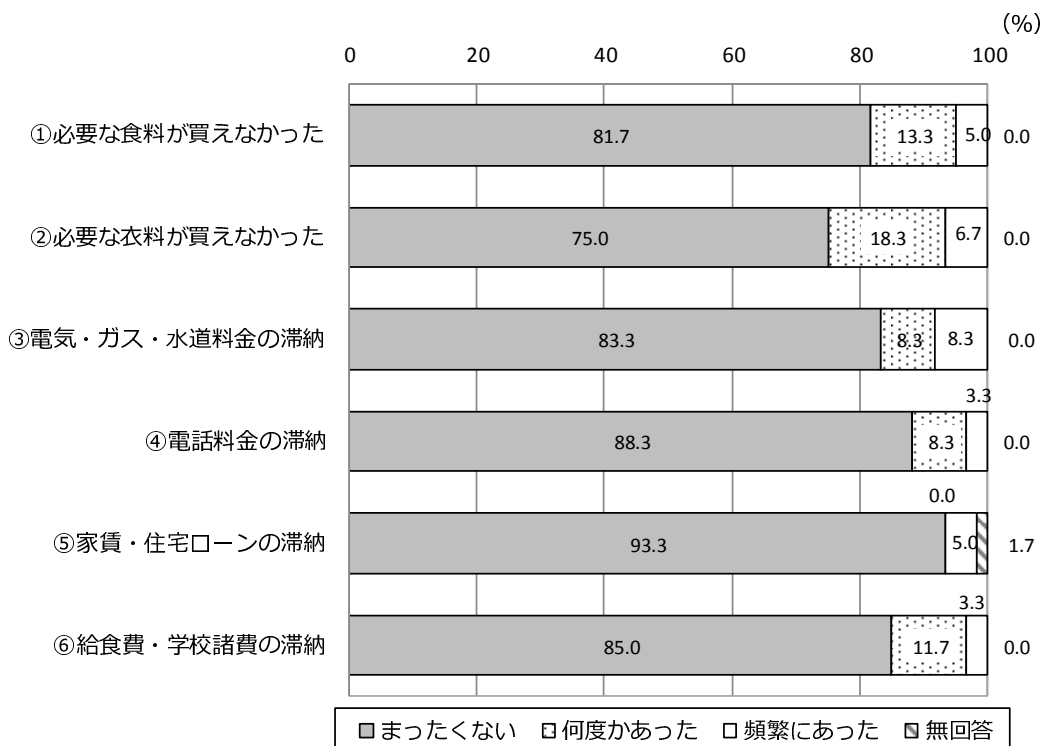
○「頻繁にあった」は、“電気・ガス・水道料金の滞納”と“給食費・学校諸費の滞納”がそれぞれ1.5%となっています。



n=464

【ひとり親等（問12）】

○「頻繁にあった」は、“電気・ガス・水道料金の滞納”が8.3%で最も高く、次いで“必要な衣類が買えなかった”が6.7%となっています。



n=60